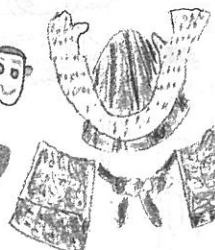
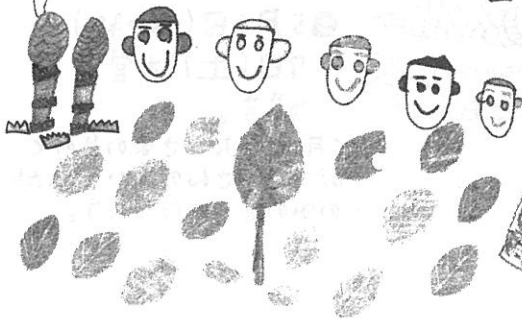
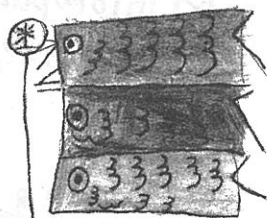
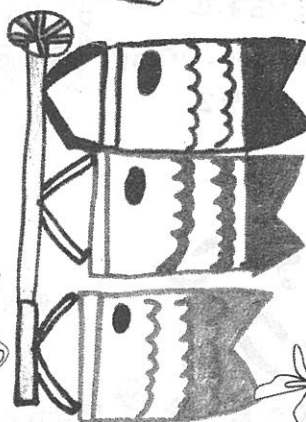
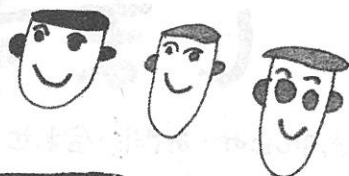
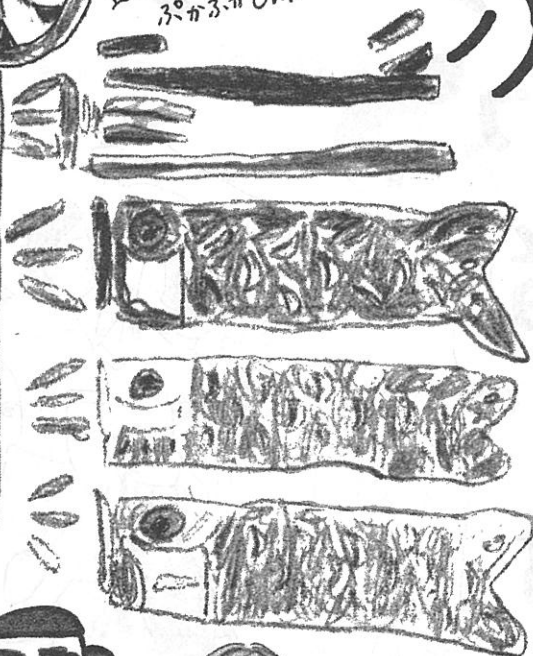
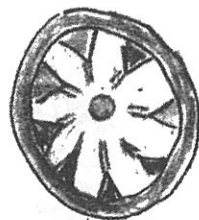


連休は いかが おすごでしたか?
ふかふかしんぶんをお届けします。

ふかふかしんぶん

2022年

5月号



演劇ワークショップ 参加者募集します

お申し込み・お問い合わせ
 ☒ info@pukapuka.or.jp
 ☎ 045-923-0282



お芝居づくりを通じて、ぷかぷかさんと豊かな関わりをつくっていくワークショップです。地域の方から参加したい方を募集します。

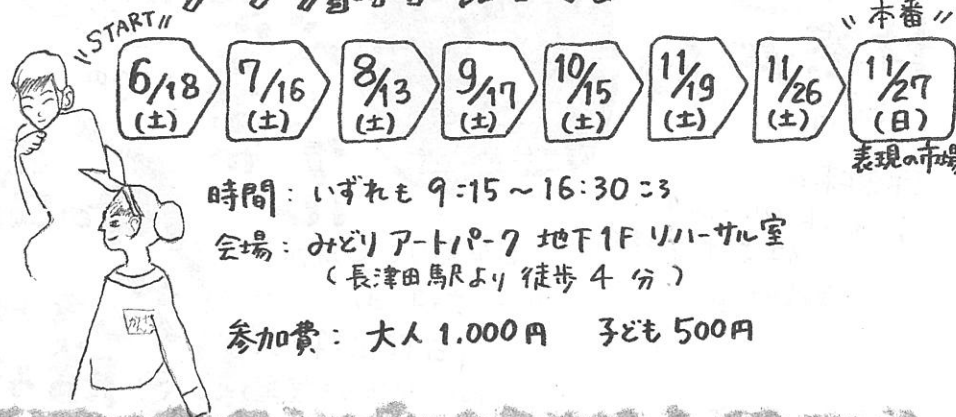
今回は宮沢賢治の『銀河鉄道の夜』の要素を取り入れたお芝居をつくります。

下記の日程でワークショップを行い、つくり上げたお芝居を「表現の市場」の舞台で発表します。

ぷかぷかさんと一緒に歌ったり踊ったりしながら楽しいお芝居をしませんか？



ワークショップスケジュール



ゴールデンウィークの 営業のお知らせ

④4月29日(金祝)～5月4日(水)
はお休みをいただきます。

⑤5月5日(木・祝)、
7日(土)は営業日
です。

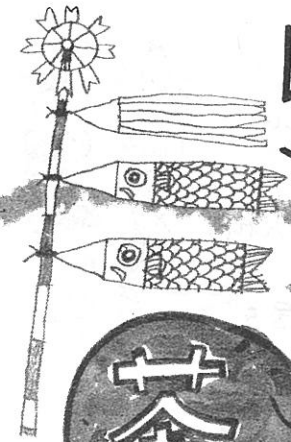
※5月5日はおひさまの台所と
ぷかぷかさんのおひるこまの
みの営業となります。



日	月	火	水	木	金	土
4/24 休	25 営業日	26	27	28	29 昭和の日 休	30 休
5/1 休	2 休	3 憲法記念日 休	4 みどりの日 休	5 こどもの日 営業日	6	7

5月の土曜営業日は5月11日です。

5月のおすすめ



抹茶×パン
180円

抹茶味の
アーモンドクリームで
仕上げています。



ベールゲル
240円

日替わりでドライフルーツ、
ナッツ、チョコ、あんこ……

1日限定4個!
火曜から金曜まで
店頭で販売。

ベールゲルは
ふかふかでお唯一の
手ごねパン

**母の日に
花を贈ろう**

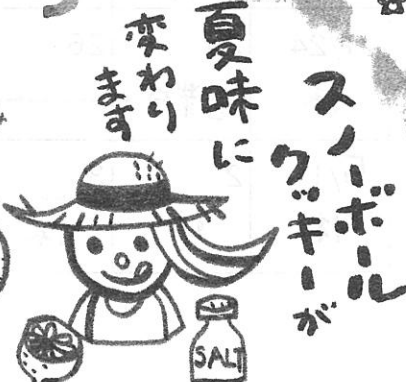
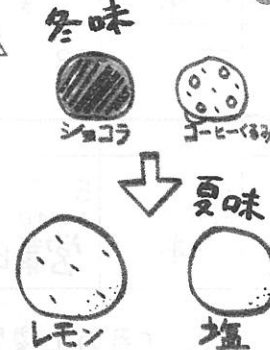
お申し込み
045-923-0282

アート屋わんどのワークショップ



**甘夏紅茶
パウンド**

天草のみかん農園
川野さんの甘夏ピール
入り。



いよいよ苗の植え付けが始まります。
育苗農家さんからいただいた
苗を大切に育てていきます。



**旬のごぼうを
使ったお料理**



5月7日(土)

10:30~12:00
@アート屋わんど

参加費
ひとり 500円
ペア 800円

作った花、描いた花
あなたのプレゼントしたい
花はどんな花?

あなたらしい
花を
創りましょう!

✉ wando@
pukapuka.
or.jp

5月 ぶかぷかさんのおひるごはんメニュー 2022

日	月	火	水	木	金	土
1 休	2 休	3 休	4 休	5 タコライス	6 ぎょうざ	7 お祭(お祭)メニュー
8 休	9 アルコギ	10 ハンバーグ	11 お魚	12 鶏肉のハーブ炒め	13 オムレツ	14 休
15 休	16 お魚	17 棒鶏	18 ポテト	19 すまみ焼風煮	20 コロッケ	21 休
22 休	23 ドライカレー	24 ミートソースパスタ	25 お魚	26 鶏肉とピーマンの炒め物	27 焼肉	28 休
29 休	30 お魚	31 ちくわ	ランチ ¥770 おいしいお茶 ¥250			

※メニューは変更になることがあります。

ランチのご予約は
045-922-6775

15時以降は
045-923-0282
まで。



4月27日、朝日新聞朝刊で「神奈川の障害者施設で虐待疑い報告」という記事が大きく載りました。「服薬用の水などに塩や砂糖が入れられた」「利用者の体内にナットが入っていた」「利用者数百回のスクワットをさせた」等々、気分が悪くなるような内容です。

人がすることではないです。障がいのある人達を「支援」する障害者施設でどうしてこんなことが起きてしまうのか。

障害者施設でおこなわれている「支援」という上から目線の関係は、相手と人として出会うことを阻害するのではないかと思います。だから相手を人として見る事ができない。重度障がいといわれる人たちも、よくつきあえば、いいものをたくさん持っています。そういうものが見えないというのは、すごくもったいないというか、ある意味不幸なことです。

相手と人として出会うことは、自分自身が人になる、ということです。その貴重な機会を失っているのです。だからこんなひどいことが平気でできてしまう。では、どうしたらいいのか。

「支援」という関係ではないところで彼らとおつきあいする機会を作るのです。ぷかぷかでは「演劇ワークショップ」や「歌のワークショップ」をやっていますが、こういうところでは「支援」などというえらそうな関係は成り立ちません。何かを「表現する」ということにおいては、彼らにはかなわないからです。「素手」で彼らと向き合うと、自分はたいしたことないんだ、ということがよくわかります。そうやって私たちは人になることができます。

「人は人を浴びて人になる」

そう思える関係を障害者施設が本気で作るかどうか、そのところが問われていると思います。

高崎明

NPO法人ぷかぷか

045-453-8511

横浜市緑区霧が丘3-25-2-205

<https://www.pukapuka.or.jp/>

NPO法人ぷかぷか

検索

